

(趣旨)

第1条 この細則は、佐賀大学動物実験安全管理規則(平成19年2月21日制定。以下「規則」という。)第37条の規定に基づき、動物実験等の手続及び審査等に関し必要な事項を定めるものとする。

(動物実験の倫理基準)

第2条 規則第13条の動物実験計画書には、別表第1に定める倫理基準(カテゴリーA～E)に対する自己判断を行い、その結果を記載するものとする。ただし、カテゴリーAの実験については、当分の間、規則第13条は適用しないものとする。

(申請及び報告・届出等)

第3条 規則第13条第1項、第13条第2項、第14条第2項、第15条第1項、第17条第1項及び第20条第1項に規定する申請、報告及び届出等は、別表第2に定めるところによって行うものとする。

(動物実験計画の立案)

第4条 規則第13条第1項に定める動物実験計画の立案については、次に掲げる基準によらなければならない。

- (1) 研究の目的、意義及び必要性を明確にすること。
- (2) 代替法を考慮して、実験動物を適切に利用すること。
- (3) 実験動物の使用数削減のため、動物実験等の目的に適した実験動物種の選定、動物実験成績の精度と再現性を左右する実験動物の数、遺伝学的及び微生物学的品質並びに飼養条件を考慮すること。
- (4) 苦痛の軽減により動物実験等を適切に行うこと。
- (5) 苦痛度の高い動物実験等、例えば、致死的な毒性試験、感染実験、放射線照射実験等を行う場合は、動物実験等を計画する段階で人道的エンドポイント(実験動物を激しい苦痛から解放するための実験を打ち切るタイミング)の設定を検討すること。

(動物実験計画の審査)

第5条 動物実験計画書の審査は、次に掲げる要領で行うものとする。

- (1) 動物実験計画に伴う関係書類の手続は、佐賀大学総合分析実験センター生物資源開発部門実験動物担当(以下「実験動物担当」という。)受付を通して行う。
- (2) 実験動物担当の専任教員は、全ての動物実験計画書の記載内容を確認し、記載事項等に不備を認めた場合は申請者に指導を行い、訂正の後に動物実験計画書を委員会へ提出する。
- (3) 動物実験計画についての審査は、規則第4条に規定する委員会が行う。

(動物実験計画の変更)

第6条 動物実験等の中途において、実験方法の変更を要する場合は、別表第2に定める様式により、審査を受けなければならない。

(動物実験等の終了・中止)

第7条 動物実験等を終了又は中止した場合は、別表第2に定める様式を提出するものとする。

(実験の有効期限)

第8条 通知書により承認された動物実験の有効期限は、承認された日から3年以内とし、1年経過ごとに別表第2に定める動物実験経過報告書を当該年度末日までに提出しなければならない。また、実験期間が3年を超える実験については、3年ごとに動物実験計画書を提出しなければならない。

(証明書の発行)

第9条 学長は、第5条に規定する審査を受け、かつ、計画どおりに行われている動物実験については、動物実験責任者が要求する審査に関する証明書を発行することができる。

(飼養保管施設の要件)

第10条 規則第16条に定める飼養保管施設は、次に掲げる要件を満たすものとする。

- (1) 適切な温度、湿度、換気、明るさ等を保つことができる構造等とすること。
- (2) 動物種や飼養保管数等に応じた飼育設備を有すること。
- (3) 床や内壁などが清掃、消毒等が容易な構造で、器材の洗浄、消毒等を行う衛生設備を有すること。
- (4) 実験動物が逸走しない構造及び強度を有すること。
- (5) 臭気、騒音、廃棄物等による周辺環境への悪影響を防止する措置がとられていること。
- (6) 実験動物管理者が置かれていること。

(実験室の要件)

第11条 規則第18条に定める実験室の要件は、次のとおりとする。

- (1) 実験動物が逸走しない構造及び強度を有し、実験動物が室内で逸走しても捕獲しやすい環境が維持されていること。
- (2) 排泄物や血液等による汚染に対して清掃や消毒が容易な構造であること。
- (3) 常に清潔な状態を保ち、臭気、騒音、廃棄物等による周辺環境への悪影響を防止する措置がとられていること。

附 則

この細則は、平成19年4月1日から施行する。

附 則 (平成26年6月25日改正)

この細則は、平成26年6月25日から施行する。

附 則 (平成28年3月25日改正)

この細則は、平成28年4月1日から施行する。

別表第1（第2条関係）

倫理基準に基づいたヒト以外の動物種を用いた生物医学実験の分類

	カテゴリーA	カテゴリーB	カテゴリーC	カテゴリーD	カテゴリーE
カ テ ゴ リ ー	○生物を用いない 実験又は植物、 細菌原虫若しくは 無脊椎動物を 用いた実験	○脊椎動物を用い た実験で、動物 に対してほとん ど、あるいはま ったく不快感を 与えないと思わ れるもの	○脊椎動物を用い た実験で、動物 に対して軽微な ストレスあるい は痛み（短時間 持続する痛み） を伴う実験	○脊椎動物を用い た実験で、避け ることのできな い重度のストレ スや痛みを伴う 実験	○麻酔していない 意識のある動物 を用いて、動物 が耐えることの できる最大の痛 みに近い痛み、 あるいはそれ以 上の痛みを与え るような処置
処 置 例	○生化学的、植物 学的、微生物学 的研究 ○無脊椎動物の研 究 ○組織培養、剖検 により得られた 組織を用いた研 究 ○屠場から得られ た組織を用いた 研究 ○発育鶏卵を用い た研究	○実験の目的のた めに動物をつか んで保定すること。 ○あまり有害でな い物質を注射し たり、あるいは 採血したりする ような簡単な処 置 ○動物の体を検査 すること ○深麻酔により意 識のない動物を 用いた実験 ○短時間（2～3 時間）飼料や水 を与えないこ と。 ○標準的な安楽死 法で瞬時に殺処 分できる場合、 例えば、大量の 麻酔薬の投与、 軽く麻酔をかけ 鎮静状態に陥っ	○麻酔状態で血管 を露出させた り、カテーテル を長時間挿入す ること。 ○行動学的実験に おいて、意識あ る動物に対して 短時間のストレ スを伴う保定を 行うこと。 ○フロイントのア ジュバントを用 いた免疫 ○苦痛を伴うが、 それから逃られ る刺激 ○麻酔状態におけ る外科的処置 で、処置後も多 少の不快感を伴 うもの	○行動学的実験に おいて、故意に ストレスを加え ること。 ○麻酔状態におけ る外科的処置 で、処置後に著 しい不快感を伴 うもの ○苦痛を伴う解剖 学的あるいは生 理学的処置 ○苦痛を伴う刺激 を与える実験 で、動物がその 刺激から逃られ ない場合 ○長時間（数時間 あるいはそれ以 上）にわたって 動物の体を保定 すること。 ○母親を処分して 代理の母を与え ること。 ○攻撃的な行動を	○手術する際の保 定のため、麻酔 薬を使わずに、 筋弛緩薬あるい は麻痺性薬剤、 例えばサクシニ ルコリンあるい はその他のクラ ーレ様作用をも つ薬剤を使うこ と。 ○麻酔していない 動物に重度の火 傷や外傷をひき おこすこと。 ○精神病のような 行動をひきおこ させること。 ○家庭用電子レン ジあるいはスト リキニーネを用 いて殺すこと。 ○避けることので きない重度のス トレスを与える こと。

		た動物を断首することなど		<p>とらせ、自分自身あるいは同種他個体を損傷させること。</p> <p>○麻酔薬を使用しないで痛みを与えること、例えば毒性試験において動物を死に至らしめる場合</p> <p>○動物が耐えることのできる最大の痛みに近い痛みを与えること、つまり、動物が激しい苦悶の表情を示す場合、例えば放射線障害を引き起こすこと、ある種の注射、ストレスやショックの研究など</p>	○ストレスを与えて殺すこと。
備考	☆無脊椎動物も神経系を持っており刺激に反応する。したがって、無脊椎動物も人道的に扱わなければならない。		☆カテゴリーCの処置は、ストレスや痛みの程度、持続時間によって、いろいろな配慮が必要になる。	☆カテゴリーDに属する実験を行う場合には、研究者は動物に対する苦痛を最小限のものにするために、あるいは苦痛を排除するために別の実験計画を考案する責任がある。	☆カテゴリーEの実験は、それによって得られる結果が重要なものであっても決して行なってはならない。

別表第2（第3条，第6条，第7条，第8条関係）

事 項	様 式 等
規則第13条第1項関係	様式第1 佐賀大学動物実験計画書
規則第13条第2項関係	様式第1の2 動物実験審査結果通知書
規則第14条第2項関係，細則第7条関係	様式第2 動物実験結果（終了・中止）報告書
規則第15条第1項関係	様式第3 飼養保管施設設置承認申請書
規則第17条第1項関係	様式第4 実験室設置承認申請書
規則第20条第1項関係	様式第5 施設等（飼養保管施設・動物実験室）廃止届
細則第6条関係	様式第6 動物実験計画（変更・追加）承認申請書
細則第8条関係	様式第7 動物実験経過報告書

佐賀大学動物実験計画書

学長 殿

佐賀大学動物実験委員会安全管理規則第13条第1項に基づき、下記のとおり動物実験計画を提出します。

新規 変更 更新

提出年月日 年 月 日 受付年月日 年 月 日 受付番号

研究課題	
-------------	--

研究目的				
動物実験責任者名 (選択項目を■)	フリガナ	部局名	職	動物実験の経験等
	氏名 e-mail @	連絡先TEL:		教育訓練受講の <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
動物実験実施者名 (括弧内フリガナ、 選択項目を■)	(.....) @	連絡先TEL:		教育訓練受講の <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	(.....) @	連絡先TEL:		教育訓練受講の <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	(.....) @	連絡先TEL:		教育訓練受講の <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	(.....) @	連絡先TEL:		教育訓練受講の <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	(.....) @	連絡先TEL:		教育訓練受講の <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	(.....) @	連絡先TEL:		教育訓練受講の <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	(.....) @	連絡先TEL:		教育訓練受講の <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無

実験実施期間	承認後 ~ 20()年 月			中止・終了等	20()年 月 日		
飼養保管施設 及び 実験室	飼養保管施設				実験室		
	動物種	系統	性別	匹数	微生物学的品質	入手先(導入機関名)	備考
使用動物							

使用動物頭数の算出根拠	(どのような作業に、何故これだけ必要なのか、根拠を分かりやすく明示しながら記入する。)
--------------------	---

研究計画と方法	研究概要（研究計画と方法について、その概要を記入する。）				
	実験方法（動物に加える処置、使用動物数の根拠を具体的に記入し、「想定される苦痛のカテゴリー」や「動物の苦痛軽減・排除方法」等と整合性をもたせる。）				
特殊実験区分 (該当項目をすべて■)	<input type="checkbox"/>	1. 感染実験 安全度分類: <input type="checkbox"/> BSL1 <input type="checkbox"/> BSL2 <input type="checkbox"/> BSL3			
	<input type="checkbox"/>	2. 遺伝子組換え動物使用実験 区分: <input type="checkbox"/> P1A <input type="checkbox"/> P2A <input type="checkbox"/> P3A			
	<input type="checkbox"/>	3. 放射性同位元素・放射線使用実験			
	<input type="checkbox"/>	4. 化学発癌・重金属実験			
動物実験の種類 (選択項目を■)	<input type="checkbox"/>	1. 試験・研究	動物実験を 必要とする理由 (選択項目を■)	<input type="checkbox"/>	1. 検討したが、動物実験に替わる手段がなかった。
	<input type="checkbox"/>	2. 教育・訓練		<input type="checkbox"/>	2. 検討した代替手段の精度が不十分だった。
	<input type="checkbox"/>	3. その他		<input type="checkbox"/>	3. その他
想定される 苦痛のカテゴリー (選択項目を■)	<input type="checkbox"/>	B. 脊椎動物を用い、動物に対してほとんどあるいはまったく不快感を与えないと思われる実験。			
	<input type="checkbox"/>	C. 脊椎動物を用い、動物に対して軽度のストレスまたは痛み(短時間持続するもの)を伴うと思われる実験。			
	<input type="checkbox"/>	D. 脊椎動物を用い、回避できない重度のストレスまたは痛み(長時間持続するもの)を伴うと思われる実験。			
	<input type="checkbox"/>	E. 無麻酔下の脊椎動物に、耐えうる限界に近い またはそれ以上の痛みを与えらと思われる実験。			
動物の苦痛軽減、 排除の方法 (該当項目をすべて■)	<input type="checkbox"/>	1. 短時間の保定・拘束および注射など、軽微な苦痛の範囲であり、特に処置を講ずる必要はない。			
	<input type="checkbox"/>	2. 科学上の目的を損なわない苦痛軽減方法は存在せず、処置できない。			
	<input type="checkbox"/>	3. 麻酔薬・鎮痛薬等を使用する。 (具体的薬剤名及びその投与量・経路を記入:)			
	<input type="checkbox"/>	4. 動物が耐えがたい痛みを伴う場合、適切な時期に安楽死措置をとるなどの人道的エンドポイントを考慮する。			
	<input type="checkbox"/>	5. その他（具体的に記入:)			
安楽死の方法 (該当項目をすべて■)	<input type="checkbox"/>	1. 麻酔薬等の使用（具体的薬剤名及びその投与量・経路を記入:)			
	<input type="checkbox"/>	2. 炭酸ガス			
	<input type="checkbox"/>	3. 中枢破壊（具体的に記入:) 法)			
	<input type="checkbox"/>	4. 安楽死させない（その理由を記入:)			
動物死体の処理方法 (選択項目を■)	<input type="checkbox"/>	1. 外部業者に依託			
	<input type="checkbox"/>	2. その他（具体的に記入:)			
その他必要または 参考事項	(過去の動物実験計画書承認実績、学内の関連委員会への申請状況、飼養保管施設・実験室の承認状況などを記入する。)				

委員会記入欄	審査終了: 20()年 月 日
	修正意見等
	審査結果 <input type="checkbox"/> 本実験計画は、佐賀大学動物実験安全管理規則等に適合する。 (条件等 <input type="checkbox"/> 遺伝子組換え実験安全委員会の承認後、実験を開始すること。) <input type="checkbox"/> 本実験計画は、佐賀大学動物実験安全管理規則等に適合しない。

様式第1の2(第3条関係)

動物実験審査結果通知書

平成 年 月 日

(動物実験責任者) 殿

佐賀大学長
(公印省略)

平成 年 月 日付けで提出された下記の動物実験計画について、佐賀大学動物実験安全管理規則第13条第2項に基づき、動物実験委員会で審査を行った結果をお知らせします。

記

- 1 実験課題名
- 2 動物実験責任者名
- 3 使用動物種・系統名
- 4 審査番号
- 5 審査の結果

計画書のとおり実験を実施して差し支えありません。

ただし、有効期限は平成 年 月 日までです。有効期限を越えて実験を継続する場合、又は動物実験計画を変更する場合は、再度「動物実験計画書」を提出してください。

以下のとおり通知します。

(通知内容)

※ 使用する実験室等名・

年 月 日

学長 殿

動物実験責任者

所属

氏名

印

連絡先

動物実験結果 (終了・中止) 報告書

佐賀大学動物実験安全管理規則第 1 4 条第 2 項及び佐賀大学動物実験安全管理細則第 7 条の規定に基づき、下記のとおり報告します。

1. 承認番号	
2. 研究課題名	
3. 実験終了 (中止) 年月日	
4. 実験の結果 (該当項目にマークし、その概要を簡潔に記述)	<input type="checkbox"/> 計画どおり実施 <input type="checkbox"/> 中止
	結果の概要
5. 成果 (予定を含む) (得られた業績、例：雑誌論文、図書、工業所有権などについて、著者名、論文標題、雑誌名、巻・号、発行年、頁、出版社などを記載、必要に応じて別紙に記載)	
6. 実験動物の処分年月日	
7. 特記事項	

様式第3（第3条関係）

飼養保管施設設置承認申請書

学長 殿

申請部局長 部局名
部局長氏名

印

佐賀大学動物実験安全管理規則第15条の規定に基づき、下記の飼養保管施設設置の承認について申請します。

申請年月日 年 月 日 受付年月日 年 月 日

受付番号

--

1. 飼養保管施設（施設）の名称	
2. 施設の管理体制	<管理者> 所属 職名 氏名 連絡先
	<実験動物管理者> 所属 職名 氏名 連絡先 関連資格： 経験年数：
	<飼養者>（人数が多い場合、別資料として添付） 所属 職名 氏名 連絡先 関連資格： 経験年数：
3. 施設の概要	1) 建物の構造： （例：鉄筋コンクリート造） 2) 空調設備： （例：温湿度制御、換気回数等） 3) 飼養保管する実験動物種： 4) 飼養保管設備（飼育ケージ等） 規格： 最大収容数： 5) 逸走防止策（ケージの施錠、前室の有無、窓や排水口の封鎖など） 6) 衛生設備（洗浄・消毒・滅菌等の設備） 名称：・ 規格： 7) 臭気、騒音、廃棄物等による周辺への悪影響防止策

<p>4. 特記事項 (例: 化学的危険物質や病原体等を扱う場合等の設備構造の有無等)</p>	
<p>5. 委員会記入欄</p>	<p>調査月日： 年 月 日</p> <p>調査結果： <input type="checkbox"/> 申請された飼養保管施設は規則に適合する。 (条件等 <input type="checkbox"/> 改善後、使用開始すること。)</p> <p><input type="checkbox"/> 申請された飼養保管施設は規則に適合しない。</p> <p>意見等</p>
<p>6. 学長承認欄</p>	<p>承認： 年 月 日</p> <p>本申請を承認します。</p> <p>承認番号：第 号</p> <p style="text-align: right;">佐 賀 大 学 長</p>

添付資料

- 1) 施設の位置を示す地図
- 2) 施設の平面図

様式第4 (第3条関係)

実験室設置承認申請書

学長 殿

申請部局長 部局名
部局長氏名

印

佐賀大学動物実験安全管理規則第17条の規定に基づき、下記の実験室設置の承認について申請します。

申請年月日 年 月 日 受付年月日 年 月 日 受付番号

--

1. 実験室の名称	
2. 実験室の管理体制	〈実験室管理者〉 (例: 教室主任者等) 所属 職名 氏名 連絡先
3. 実験室の概要	1) 実験室の面積: (m ²) 2) 実験に使用する実験動物種: 3) 実験設備 (特殊装置の有無等) 4) 逸走防止策 (前室の有無、窓や排水口の封鎖など) 5) 臭気、騒音、廃棄物等による周辺への悪影響防止策
4. 特記事項 (例: 化学的危険物質や病原体等を扱う場合等の設備構造の有無等)	
5. 委員会記入欄	調査月日: 年 月 日 調査結果: <input type="checkbox"/> 申請された実験室は規則に適合する。 (条件等 <input type="checkbox"/> 改善後、使用開始すること。) <input type="checkbox"/> 申請された実験室は規則に適合しない。 意見等
6. 学長承認欄	承認: 年 月 日 本申請を承認します。 承認番号: 第 号 佐賀大学長

添付資料

- 1) 実験室の位置を示す地図
- 2) 実験室の平面図

様式第 5 (第 3 条関係)

年 月 日

学長 殿

届出部局長 部局名
部局長氏名

印

施設等 (飼養保管施設・動物実験室) 廃止届

佐賀大学動物実験安全管理規則第 20 条の規定に基づき、下記のとおり届出いたします。

<p>1. 廃止する飼養保管施設 (施設) または実験室の 名称</p>	<p>設置承認番号 ()</p>
<p>2. 管理者</p>	<p>所属 職名 氏名 連絡先</p>
<p>3. 廃止年月日</p>	<p>年 月 日</p>
<p>4. 廃止後の利用予定</p>	
<p>5. 廃止時に残存した飼養 保管動物の措置 (施設の場合のみ記載)</p>	<p>残存飼養保管動物の有無 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 有の場合の措置</p>
<p>6. 特記事項</p>	
<p>7. 委員会記入欄</p>	
<p>8. 学長記入欄</p>	

様式第6（第6条関係）

年 月 日

学長 殿

動物実験計画（変更・追加）申請書

動物実験責任者名

所属：

職名：

氏名： 印

承認番号_____の動物実験計画を下記のとおり、変更・追加したいので承認願います。

記

1. 変更・追加事項*

(* 変更・追加内容を反映させた「計画書」を新たに提出すること。)

1) 動物実験実施者（共同研究者）の変更・追加

2) 実験動物の使用数等の変更・追加

3) 実験実施期間の変更

4) その他

2. 変更・追加等の理由

様式第7（第8条関係）

年 月 日

学長 殿

動物実験責任者

所属

氏名

連絡先

印

動物実験経過報告書

佐賀大学動物実験安全管理細則第8条の規定に基づき、下記のとおり報告します。

1. 承認番号	
2. 研究課題名	
3. 実験の経過状況 (該当項目にマークし、当該年度中に実施した実験について、その概要を簡潔に記述) *「その他」を選択した場合は、当初の計画との相違点等について具体的に記載すること。	<input type="checkbox"/> 計画どおり実施中 <input type="checkbox"/> その他 経過の概要
4. 特記事項	